

浜岡原子力発電所 5号機 主復水器細管損傷に係る対応状況について

2011年8月29日

当社は、2011年5月14日に、浜岡原子力発電所5号機の原子炉停止後の冷温停止操作過程で発生した主復水器細管損傷事象に伴い系統内に海水が流入したため、塩分の除去作業等を進めています。これまでに実施した塩分の除去作業等の状況について、お知らせします。

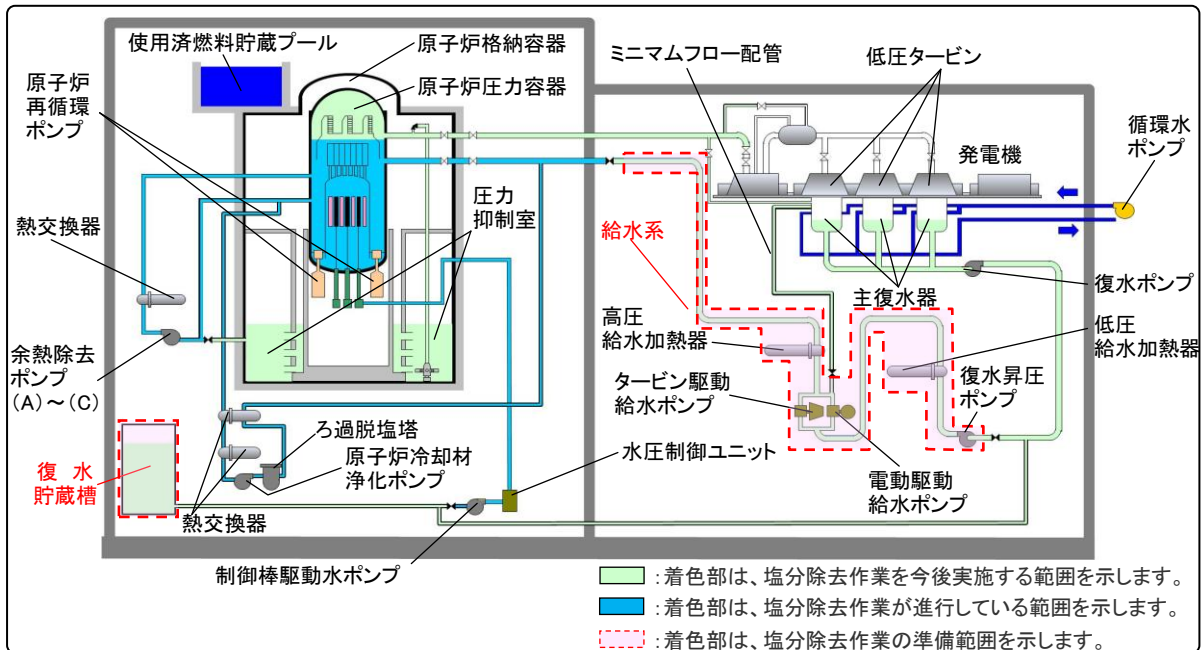
1 塩分の除去について

今回の主復水器(A)の細管損傷事象による海水流入の影響範囲は以下の図のとおりです。

塩分除去作業の進行状況について、原子炉内および原子炉冷却材浄化ポンプ、余熱除去ポンプ(B, C)を含む系統は、海水流入当初の2500分の1以下まで塩化物濃度が低下しています。

また、原子炉再循環ポンプ、制御棒駆動水ポンプ、余熱除去ポンプ(A)を含む系統については、脱塩水*と置換が完了しています。

現在、原子炉系では復水貯蔵槽の、タービン系では給水系の塩分除去作業準備を進めており、準備が整い次第、除去作業を開始します。



* 脱塩水は、新野川の伏流水を脱塩処理したものであり、塩分を含んでいません。

2 対応スケジュールについて

項目	2011年度		2012年度	
	上期	下期	上期	下期
主復水器(A)細管損傷の原因調査	<ul style="list-style-type: none"> 主復水器(A)の点検, 類似箇所の点検 主復水器(B), (C)の点検 原因調査 ▼再発防止対策公表 			
塩分の除去作業				
設備の点検・健全性評価			原子炉系	
(1)設備の点検・評価			タービン系	
(2)燃料の点検・評価				
(3)設備健全性評価検討委員会	▽	▽	▽	▽

3 設備健全性評価検討委員会の設置について

現在、海水が流入した設備の点検および健全性評価を進めていますが、評価に際し専門家からご意見を聴くことを目的に設備健全性評価検討委員会を設置することとしました。今後は、健全性評価のために実施する試験の計画および結果、また、これに基づいておこなった設備の点検結果等について、委員の方々のご意見を聴き、健全性評価を確実に実施していきます。

第1回の委員会は、8月30日に開催する予定です。また、委員会の議事概要については、適時、ホームページ上に公開します。

【これまでにお知らせした内容】

浜岡原子力発電所5号機 原子炉停止後の主復水器の導電率の上昇について
([2011年5月15日お知らせ済み](#))

浜岡原子力発電所5号機 主復水器の導電率上昇に関する点検について
([2011年5月18日お知らせ済み](#))

浜岡原子力発電所5号機 主復水器の導電率上昇に関する点検について(続報)
([2011年5月20日お知らせ済み](#))

浜岡原子力発電所5号機 主復水器細管損傷事象に係る原因と対策について
([2011年7月15日お知らせ済み](#))

以上